民報 あばしり
NO.1312
4月11日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL四三一－四四五八
FAX四三一－四四五七

「国会かけある記」

市民と野党の結束で必勝を

2021年4月5日

参議院議員　紙　智子

衆院北海道２区補欠選挙の市民と野党の統一候補が、立憲民主党の松木けんこう前衆議院議員に決まりました。この選挙は自民党の吉川貴盛元農水相が大手鶏卵会社「アキタフーズ」から裏金を受け取った収賄事件で、辞職したことに伴う選挙です。広島県では自民党の河井克行元法相とその妻・案里参院議員の大規模な選挙買収で辞職したことに伴う参院再選挙が、長野県では新型コロナで亡くなられた羽田雄一郎参院議員の欠員に伴う補欠選挙と、３つの国政選挙がたたかわれます。

北海道二区と広島は、収賄、買収で議員を辞職したのに国民に自ら何の説明もせず、疑惑の解明もできず、自浄能力のない自民党政治から新しい政治の流れをつくる選挙です。新型コロナ禍の元、自助努力ばかり押しつける菅政権に審判を下し、今年、必ず行われる総選挙で政権交代をめざす第一歩です。

日本共産党の２区の候補者として奮闘されてきた平岡大介さんが、自ら候補者をおり選挙勝利への決断をされたことを重く受け止めて、私自身も市民と野党の結束した力で必勝を期すために全力で頑張ります。

「政治とカネの問題を徹底究明する。新型コロナ感染症への緊急対策を実施するとともに自己責任論にたった政治から、命と人間らしい生活を最優先の政治に転換する。憲法を守り立憲主義・民主主義を回復し人々の多様性、ジェンダー平等はじめ誰もが尊重される社会を築く」この一致点を旗印に、何としても勝利しましょう！

75才以上高齢者 医療費 2倍化法案を廃案に追い込もう！

今国会で成立を狙う75才以上の高齢者の医療費負担を２割にする法案です。政府は２割に引き上げても月ごとの上限額（高額療養費）があるから影響は大きくないと言います。

しかし、外来の負担上限額は月1万8千円、入院を含めた上限額は5万7千円ですから、上限に達せず、表のように文字通り負担が2倍となります。

入院負担２倍化の事例

病気の内容	手術や検査の内容	入院期間	患者負担
すい臓の粘液性腫瘍	超音波内視鏡検査	日帰り	5,000円増の11,000円
大腸ポリープ	内視鏡を用いた切除術	１泊２日	13,900円増の27,800円
肺がん	患部の一部を調べる検査	１泊２日	16,000円増の32,000円
狭心症	カテーテルを用いる諸検査	１泊２日	22,400円増の44,800円
末梢性めまい症	服薬など	３～４日程度	13,300円増の26,600円

１割でも負担が大きい高齢者の受診控えが高齢者の命を脅かしています。

昨年から反対の署名を集めています。ぜひ、ご協力をお願いします。

松浦さんの奮戦メモ

今年は桜の開花が早そうで、松浦事務所の桜の木を見ると蕾が膨らんできました。

ところで、安倍前首相主催の公的行事「桜を見る会」は２０１３年～19年の４月に毎年開催され、回を重ねるごとに参加者と費用は膨らみ続けました。安倍さんの地元の支援者らを大量に招待し、飲ませ食わせしたことは税金を使った事実上の買収です。

19年に「しんぶん赤旗」日曜版のスクープと日本共産党議員の国会質問で実態が明らかになり、国民の怒りが広がり、翌年は中止に追い込まれました。前日の都内の高級ホテルでの前夜祭をめぐり安倍晋三後援会が参加者の費用を補填していた問題も明らかになりました。

東京地検特捜部は20年末、安倍後援会が16年から19年にかけて前夜祭費用を合計７００万円支出していたのに、政治資金収支報告書に記載がないと認定し、安倍さんは不起訴になりましたが、国会での答弁が虚偽であったことが明白になりました。国会として決着をつけてほしいです。

村ちゃんが駆ける

私の母校北見工業大学地盤工学の学生らが海底に埋蔵されているメタンハイドレートを取り出す実験をしていると道新が報じていました。北見の寒さを利用し、幅３ｍ、厚さ２ｍの氷を自然の中で作りあげ、氷を使って削る方法の実験を行うのでしょう。

中学生の時、原発が建設され始め、未来のエネルギーになると信じた私ですが、メタンも温室効果ガスですから、取り出すのは問題だと思う一方で水素やアンモニアをつくることができ、２酸化炭素を発生しない燃料電池車の燃料になればなどと思うのは勉強不足でしょうか。

先週、「気候変動ヤバい。何かしなくては」と高校生たちが石炭火発や原発依存を検討する経産省前で気候ストをしたとのことです。原発再稼働のためにお金をつぎ込むのを止め、再生可能エネルギーに舵を切り、全ての原発を廃炉にする。未来の子ども達に負の遺産を残さないように、皆さんと一緒に運動していきたいです。

流氷

政府は、３月21日に一都三県のコロナ緊急事態宣言を解除した。コロナ感染者数が減ったわけではないのにだ。宣言解除の新聞には桜の季節や、卒業旅行を当て込んだ宣伝広告が多数掲載されたが、コロナは、大阪、東京、宮城など全国各地に広がり、専門家は、第４波感染と懸念、危惧する。コロナ変異株の流行拡大に医師、専門家は、早急な対策を国に求めるが、国は経済が大事、オリンピック開催が必須と、感染症に有効な対策を講じず、国民には自粛、自粛と言うばかり。ようやく始まったワクチン接種も進まず、いつになったら受けられるのか不安だ。▼温泉に行くと、狭い洗い場で大きな声で話をしていた。『月に一万円以上医療費がかかる、それが２倍になる。年寄りは死ねと言うのか』と、憤る。菅首相が、今国会で75才以上の後期高齢者医療費窓口負担を、１割から２割に改悪しようとしているのだ。このコロナで皆大変な時にだ。医療費も上がる、年金も０・１％下がると言うと、『温泉も来れなくなる』と、怒る。国民に『自助』冷酷な菅政権を、一刻も早く終わらせねばならぬ!!散歩すると、家々の庭に植えた福寿草が、金色の光をすべて集め輝いている。ヒバリが、青く高い空に吸い込まれて『春だ。春が来たぞ!!』と、歌っている。

アスリート爺